令和5年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

令和5年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)							
学科		教科 科目(記	構座名)対象	学年 単位数			使用教材
普通科•福祉教養科			楽 I 全	_	音楽 I Tut (教育出版	反)	なし
学習の到達目標		音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 (3)主体的・協働的に音楽の幅広き活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
学期	月	月単元		学習内容			到達度目標(学習のねらい)
前期	4月	クラスの歌声を よう	技能		調和を意識し		発声の基本を学習するとともに、歌うことの 楽しさや、喜びを感じ取ることができる。
	5月	日本歌曲を歌る	り-音	楽の特性	ちょう もっぱい もっぱい もっぱい もっぱい もっぱい もっぱい もっぱい もっぱい	た発声	日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりや旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心を持ち、主体的に歌唱に取り組むことができる。
	6月	イタリアの民謡 ドイツ歌曲の慰 英語のライムを フランスの歌に	カ ム、E 感じて 己の	曲の構成な イメージを	の特性と旋律・ どに関心を持 持って歌唱表	ち、自 現をエ	外国語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。
	7月						
	9月	音楽史	させ	た時代の対		の状況	各時代における音楽様式の特徴を理解し、 その変化や発展の推移を外観することがで きる。
後期	10月	物語と音楽とのに注目しよう	術に いな	おいて物語 がらどのよ	ジカルなどの線 居と音楽が関れ うな表現上の かを考える。	つり合 効果を	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的 背景との関わり、言葉の特性と曲想に応じた 発声との関わり、曲想や表現上の効果と音 楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・ 歴史的背景、他の芸術との関わりについて 理解する。
	11月						<u></u>
	12月	音楽史	時代	の文化・社)楽曲を成立さ 会などの状況 徴を把握する	を理	ロマン派以降の音楽の特徴と表現形式の変化などについて理解することができる。
	1月	アンサンブルを う	深めよ調和	のとれた倉	造的な合奏を		各自のパートと他のパートとの調和を考えて 表現することができる。
	2月	音のスケッチ	旋律	を変化させ	さてみる。		簡単な旋律をパタ―ンに沿って変化させ、演奏することに主体的に取り組む。